メアリー＆マックス（2008）

MARY AND MAX

メディア 映画　アニメ
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国　オーストラリア
色彩　Color
時間　94分
初公開日 2011/04/23
公開情報 エスパース・サロウ
映倫　G

【キャッチコピー】
ある日、しあわせの手紙がやってきた――

不器用だけどあったかい―そんな２人のほんとうにあったお話。

【解説】
　前作「ハーヴィー・クランペット」でアカデミー短編アニメ賞に輝いたオーストラリア人監督アダム・エリオットが、20年来の文通相手というニューヨークに暮らすアスペスガー症候群の男性との交流を基に紡ぎ上げた珠玉のクレイ・アニメーション。ともに孤独を抱えたオーストラリアの少女とニューヨークの中年男性との間で始まった手紙のやり取りを通じて、互いに紆余曲折を経ながら強い絆で結ばれていくさまと、それぞれの20年に及ぶ悲喜こもごもの人生模様を、ブラックユーモアを織り交ぜつつ切なくも優しい眼差しで綴る。声の出演は「シックス・センス」のトニ・コレットと「カポーティ」のフィリップ・シーモア・ホフマン。
　オーストラリアのメルボルンに住む８歳の少女メアリー。友だちのいない彼女は、アメリカの見知らぬ誰かに手紙を書こうと思い立ち、分厚い電話帳から変わった名前のマックス・ホロウィッツさんを選び出す。当のマックスは大都会ニューヨークに暮らす肥満体の中年男。他人とのコミュニケーションが苦手で孤独な日々を送っていた。そんなある日、オーストラリアの少女メアリーが出した手紙が届く。これに対しマックスはタイプライターで丁寧な返信を綴る。こうして、２人の20年以上も続く文通による交流が幕を開けるのだが…。

【クレジット】

監督	アダム・エリオット	Adam Elliot	
製作	メラニー・クームズ	Melanie Coombs	
製作総指揮	マーク・グーダー	Mark Gooder	
	ポール・ハーダート	Paul Hardart	
脚本	アダム・エリオット	Adam Elliot	
撮影	ジェラルド・トンプソン	Gerald Thompson	
プロダクションデザイン	アダム・エリオット	Adam Elliot	
音楽	デイル・コーネリアス	Dale Cornelius	
ナレーター	バリー・ハンフリーズ	Barry Humphries	
声の出演	トニ・コレット	Toni Collette	メアリー・デイジー・ディンクル
	フィリップ・シーモア・ホフマン	Philip Seymour Hoffman	マックス・ジェリー・ホロウィッツ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

エリック・バナ	Eric Bana	ダミアン
ベサニー・ウィットモア	Bethany Whitmore	幼いメアリー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.